公益社団法人日本精神保健福祉士協会京都府支部・
京都精神保健福祉士協会2019年度総会記念講演

ピアサポートについて
私たちが学ぶべきこと

講師：相川 章子 氏
（聖学院大学　心理福祉学部教授）

日時:
2019年5月26日(日)
14:00～16:30
（受付 13:30～）

場所:
ハートピア京都
大会議室
（京都府立総合社会福祉会館）

参加費:
無料

2014年の精神保健福祉法改正では、「地域移行において有効な支援者としてピアサポーター」が取り上げられ、全国的にも「養成」の動きが活発になり、私たちソーシャルワーカーもかかわることが多くなってきています。この京都でも京都府では、ピアサポーターのあり方を考える研修会が、京都市ではすでに「養成講座」が開催されています。

一方で「当事者活動」はこれまでの精神保健福祉の歴史の中で、日本でも各地で存在してきました。精神疾患の経験を活かした支え合い、個別支援、ソーシャルアクションなど、様々なかたちでその活動は実践されています。

国が施策の中に打ち出している「ピアサポーター」がすでにある当事者活動と連動してよりよいかたちに発展していくことが求められますが、そのためには私たちのあり方も含めて様々な転換が必要だと思われます。日々、多様な市民とつながる私たちソーシャルワーカーはこの動きにどんな役割を果たすことができるでしょうか。

2019年度の記念講演は、「ピアサポート」をテーマに取り上げ、そのいろはから日本における活動の状況等を学び、私たち自身の視点やあり方を点検し、実践にむすびつけていく機会にしたいと思います。また今回は、当事者やその家族のみなさまにも広く参加を呼びかけ、ともに学び考える機会にもしたいと願っています。

講師には、長年ピア活動について研究を行い、著書も多い相川章子氏をお迎えします。たくさんのご参加をお待ちしています。



お問い合わせ先:
京都精神保健福祉士協会 事務局
（つばき医院内）
Mail : office@kyo-psw.org
Fax : 075-411-1020